

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

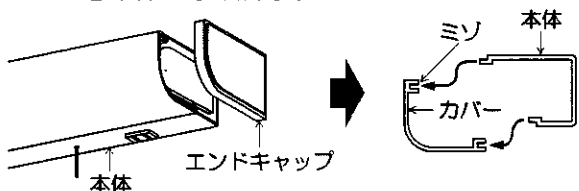
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 カバーを取出す

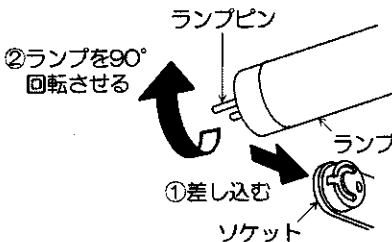
左右のエンドキャップを本体より取出す。
カバーを本体より取出す。



3 古くなったランプを取出す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。



ランプピンをソケットに確
実に差し込み、90°回転さ
せて取付ける。
※差し込みが浅い場合は器
具の故障やランプ切れの
原因になります。

5 カバーを取付ける

■施工手順5を参考にカバーを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布で薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 ABN547019

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行って ください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下 によるけがの原因になります。	禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のもの をご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、 樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの 原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は壁・天井取付両用器具です。傾斜天井 には取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、 使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込ま ないでください。 →感電・故障の原因になります。
！ 厳守	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し ないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		器具やランプを布や紙などでおおって使用しな いください。 →火災の原因になります。
！ 厳守	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し ないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	コンセントは500Wを超えて使用しないでくだ さい。 →火災の原因になります。
！ 厳守	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し ないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってくだ さい。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因に なります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
！ 厳守	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		ガス機器など、温度が高くなるものの上への取 付けや、器具の下にストーブなどの高温のもの を置かないでください。また、燃えやすいもの を近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
！ 厳守	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要 です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ	コンセント容量
ABN547019	AC100V	50/60Hz 共用	18W	FL 20SS/18×1	500Wまで

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と 合わせて大切に保管してください。
＜保証について＞		＜アフターサービスについて＞
1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内 に故障した場合には、無料修理させていただきます。		1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの 販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。		2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談 ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理 させていただきます。
3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。		3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は 弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の 期間とします。		4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有して います。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の 使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び 損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合		※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものでは ありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びに ご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。		※This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		
保証期間(お引き渡し日より)		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間		
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

コイズミ照明株式会社

取説No. B112-010 FU/S・T-10

■施工前の確認

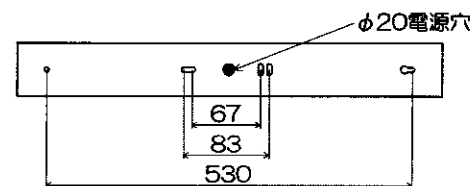
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 取付ピッチ

取付けに必要な取付穴を開放する。

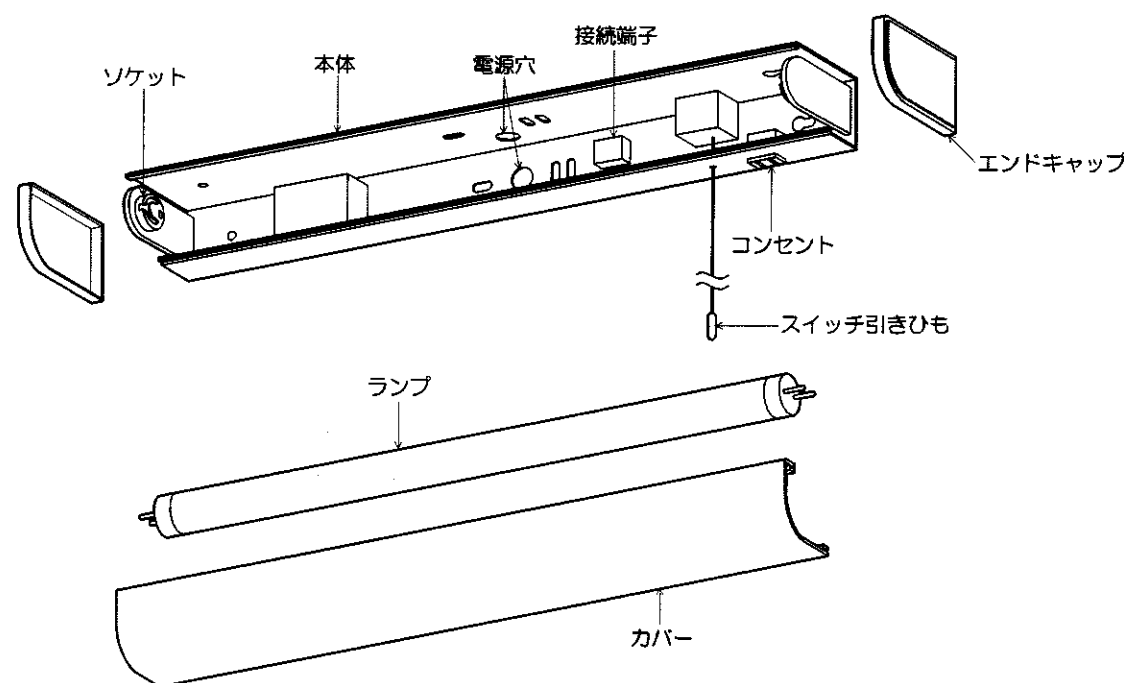


■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

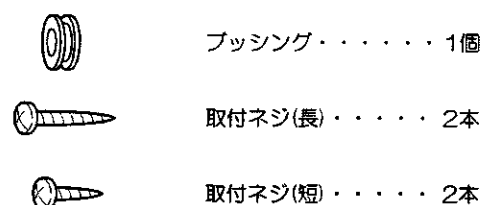
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

！ 厳守
電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM-EEFケーブルを使用する場合は表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒色テープなどで保護してください。
→火災・感電の原因になります。

ただし、「タイシガイセンEM-EEF」は、一般のEM-EEFのような黒色テープによる遮光処理の必要がありません。

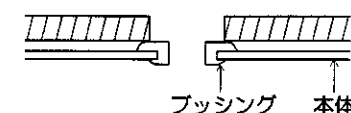


〈付属部品〉



1 プッシングを取付ける

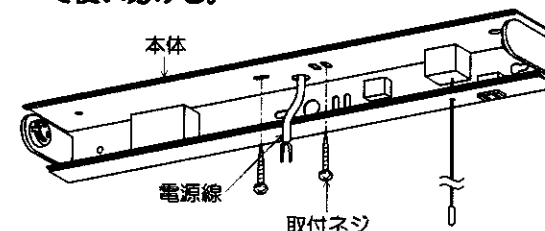
取付けに必要な取付穴を開放する。
付属のプッシングを取付面の電源穴に取付ける。



2 本体を取付ける

本体の電源穴に電源線を通し、取付ネジで取付ける。

※取付ネジ(長)、取付ネジ(短)は取付場所に合わせて使い分ける。



3 電源線を接続する

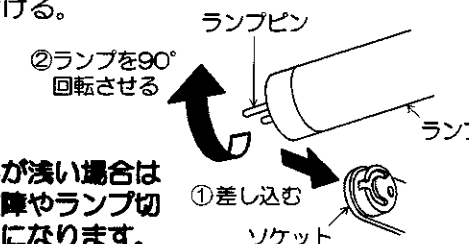
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを矢印の方向に押し、電源線を抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



4 ランプを取付ける

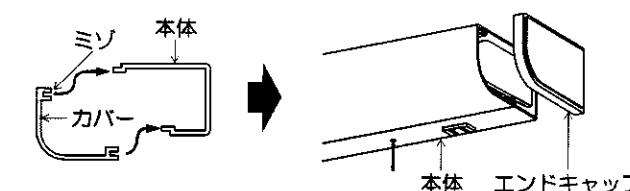
ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。



※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 カバーを取付ける

カバーのミソを本体にはめ込む。
左右のエンドキャップを本体にはめ込む。



6 点灯の確認を行なう

■点灯順序

●スイッチ引きひもを引っ張ってください。

点灯 ↔ 消灯

※壁スイッチのある場合、あらかじめ壁スイッチをONにし、スイッチ引きひもを操作してください。

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが暗くなる

電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。